##									7-084_(1/	
### 2017 年 9 月度 研究部部内会議 護事録 ### ### ### ### ### ### ### ### ### #						番号				
## 2017 年 9 月度 研究部部内会議 薬率録 研究部 よ	■ 会	議議事録	⊅ r/∃H	*****						
画商衛常後(欠所) 上森部長、高祖州、内田 G長、久野ラボ長、藤田 G長、法韶院 M、今西(紀) 議題、議事の趣旨、結論(決定率項・要処置事項)等 1. 共通 ・	件名	2017年9月度 研究部部内会議 議事録						番箕	作成 今 ふ	
議題、議事の趣旨、結論(決定事項・要処置事項)等 1. 共通 ・内部監査:コンプライアンスの関係上、特に毒劇物等取扱は特に注意 ・成果報告会りハ:役員都合にてリハは早まる。9/25-9/26 実施で調整中。 2. 研究開発が況 (※見出し番号は会議資料の番号) 2. 1 研究グループ (1)全社研究開発予算 全社研究開発予算の起案は、9月25日頃に処置のこと。(参考:予算説明会9/27) (2) 技術可とドマップ 各部記典/容を整理、要すれは設訂版提出依頼、 820 審議会では、改訂版にて、研究開発との整合性を説明してもらう。 (2) 技術情報共有 技術部民会報は、実施継続可否を検討。 (3) 共通基盤技術開発 1) FST 山本金属温度測定装置導入可否の表は全く分からず、比較ができない。 さくらい工業だけに頼らず、大学との共同研究等、スピードアップ可能なやり方を要検討。 川地鉄工でFSWを実施している。情報確認し、要すれば利用のこと。 (2) Cold Spray 進捗定延に見える。FST 同様、研究開発のやり方を要検討。 3) LMD TRAFAM/MI の LMD 装置は、上市前に見学に行き、情報収集を実施のこと。 (4) 高熱伝導材の SACOC 適用研究 コスト計算が雑すぎ、ミスリードする。ろう付け費用等を盛り込み、精査のこと。 (5) 金属積電部 成果報告会で、溶け気性可否の報告を行うこと。 (4) 直熱伝導材の SACOC 適用研究 コスト計算が雑すぎ、ミスリードする。ろう付け費用等を盛り込み、精査のこと。 (5) 金属積電部 成果報告会で、溶け気性可否の報告を行うこと。 (4) 直熱と海中の SACOC 適用研究 コスト計算が維すぎ、ミスリードする。 ろう付け費用等を虚り込み、精査のこと。 (5) 金属積電活 以果が行うな表に関連などの表に行き、情報収集を実施のこと。 (5) 金属積電流 は、近れが検討で、ことでは対象が発生のこと。 (5) 金属積電流 は、対象である。 (5) 金属積電流 は、対象を書きで記載のこと。 (5) 金属積電流 は、対象である。 (5) 金属積電流 は、対象である。 (5) 金属積電流 は、対象を書きで記載のこと。 (5) 金属積電流 は、対象である。 (5) 金属積電流 は、対象が対象である。 (5) 金属積電流 は、対象である。 (6) 金属積電流 は、対象が対象を表している。 (6) 金属積電流 は、対象が対象を表している。 (7) では、対象が対象が対象が対象が対象が対象が対象が対象が対象が対象が対象が対象が対象が対	日 2	2017年8月7日(木)13:00~14:15	場熱交会	議室			/		
1. 共通	H .		内田 G 長, 久野ラ	ボ長,藤田(G長, 法龍院 N	M, 今西(記)			
・内部監査:コンプライアンスの関係上、特に毒劇物等取扱は特に注意・成果報告会リハ:役員都合にてリハは早まる。9/25-9/26 実施で調整中。 2. 研究別を大党 (※見出し番号は会議資料の番号) 2.1 研究グループ (1)全社研究開発支援 1) 研究別発子算 全社研究開発予算の起案は、9月25 日頃に処置のこと。(参考:予算説明会 9/27) 2) 技術ロードマップ 各部記載内容を整理。要すれば改訂版提出依頼。 RNB 審議会では、改訂版にて、研究開発との整合性を説明してもらう。 (2) 技術情報共有 技術部長会報は、実施維続可否を検討。 (3) 共通基理技術開発 1) FSW 山本金属温度測定装置導入可否の表は全く分からず、比較ができない。 さくらい工業だけに頼らず、大学との共同研究等、スピードアップ可能なやり方を要検討。 川遊鉄工でF SWを実施している。情報確認し、要すれば利用のこと。 2) Cold Spray 進捗遅延に見える。FSW 同様、研究開発のやり方を要検討。 (4) 高熱伝導材の SACOC 適用研究 コスト計算が能すぎ、ミスリードする。ろう付け費用等を盛り込み、精査のこと。 達成成果報告会で、溶接性可否の報告を行うこと。 (5) 金属健療造形 成果報告会で、溶接性可否の報告を行うこと。 2. 2 材料・プロセスリサーチラボ (1) 研究業務 1) 熱交コラボ :		議事の趣旨、結論	i(決定事項・要処	置事項)等					担当、期限	
全社研究開発予算の起案は、9月25日頃に処置のこと。(参考:予算説明会 9/27) 2) 技術ロードマップ 各部記載内容を整理、要すれば改訂版提出依頼、 R&D審議会では、改訂版にて、研究開発との整合性を説明してもらう。 (2) 技術情報共有 技術部長会報は、実施継続可否を検討。 (3) 共通基盤技術開発 1) FSW 山本金属温度測定装置導入可否の表は全く分からず、比較ができない。 さくらい工業だけに頼らず、大学との共同研究等、スピードアップ可能なやり方を要検討。 川並鉄工でFSWを実施している。情報確認し、要すれば利用のこと。 2) Cold Spray 進捗遅延に見える。FSW 同様、研究開発のやり方を要検討。 3) LMD TRAFAM/MHI のLMD 装置は、上市前に見学に行き、情報収集を実施のこと。 (4) 高熱伝達材の SACOC 適用研究 コスト計算が雑すぎ、ミスリードする。ろう付け費用等を盛り込み、精査のこと。 達成成果に目途を付け、理想目標に加え、撤退条件を時間軸で明確化のこと。 (5) 金属積層造形 成果報告会で、溶接性可否の報告を行うこと。 2.2 材料・プロセスリサーチラボ (1) 研究業務 (1) 熱交コラボ : 出張等記載不用。トピックスを報告のこと。 (2) 依頼調査業務 : 文章ではなく、箇条書きで記載のこと。 (2) 依頼調査業務 : 文章ではなく、箇条書きで記載のこと。 (2) 依頼調査業務 : 文章ではなく、箇条書きで記載のこと。 (4) 高級保護者等 : 文章ではなく、箇条書を記載のこと。 (5) 金属積層造形 (5) が表別である場合による。 (5) 金属積層造形 (5) が表別である場合による。 (5) 金属積層造形 (5) が表別である場合による。 (5) 金属積層造形 (5) が表別である。	2. 研究閉 2. 1 硕 (1) 全	成果報告会リハ 開発状況 <u>(※</u> 研究グループ 社研究開発支援	: 役員都合にてリア	は早まる。 9				全	溳	
各部記載內容を整理、要すれば改訂版提出依賴。 R&D 審議会では、改訂版にて、研究開発との整合性を説明してもらう。 (2) 技術情報共有 技術部長会報は、実施継続可否を検討。 (3) 共通基盤技術開発 1) FSW 山本金属温度測定装置導入可否の表は全く分からず、比較ができない。 さくらい工業だけに頼らず、大学との共同研究等、スピードアップ可能なやり方を要検討。 川並鉄工でFSWを実施している。情報確認し、要すれば利用のこと。 2) Cold Spray 進歩遅延に見える。FSW 同様、研究開発のやり方を要検討。 別 LMD TRAFAM/MHI の LMD 装置は、上市前に見学に行き、情報収集を実施のこと。 (4) 高熱伝導材の SACOC 適用研究 コスト計算が雑すぎ、ミスリードする。ろう付け費用等を盛り込み、精査のこと。 達成成果に目途を付け、理想目標に加え、撤退条件を時間軸で明確化のこと。 (5) 金属積層造形 成果報告会で、溶接性可否の報告を行うこと。 2.2 材料・プロセスリサーチラボ (1) 研究業務 1) 熱交コラボ : 出張等記載不用。トピックスを報告のこと。 2.3 効様すラボ : 充填剤検討は、Go/Stop判断の基準を持つこと。 (2) 依頼調査業務 : 文章ではなく、箇条書きで記載のこと。 2.3 知財グループ : 指摘無し 2.4 拡散接合研究グループ 法規対応の対役員報告は、どういう意味を持つのかも報告のこと。 ※ 次回 2017 年 9 月度部内会議(10/11) の資料担当は、藤田G長 以上.	全社研究開発予算の起案は、9月25日頃に処置のこと。(参考:予算説明会9/27)								今西	
(2) 技術情報共有 技術部長会報は、実施継続可否を検討。 (3) 共通基盤技術開発 1) FSW 山本金属温度測定装置導入可否の表は全く分からず、比較ができない。 さくらい工業だけに頼らず、大学との共同研究等、スピードアップ可能なやり方を要検討。 川並鉄工でFSWを実施している。情報確認し、要すれば利用のこと。 2) Cold Spray 進歩遅延に見える。FSW 同様、研究開発のやり方を要検討。 3) LMD TRAFAM/MHI のLMD 装置は、上市前に見学に行き、情報収集を実施のこと。 (4) 高熱伝導材の SACOC 適用研究 コスト計算が雑すぎ、ミスリードする。ろう付け費用等を盛り込み、精査のこと。 達成成果に目途を付け、理想目標に加え、撤退条件を時間軸で明確化のこと。 (5) 金属積層造形 成果報告会で、溶接性可否の報告を行うこと。 2. 2 材料・プロセスリサーチラボ (1) 研究業務 1) 熱交コラボ 出張等記載不用。トピックスを報告のこと。 2. 1 材料・プロセスリサーチラボ (2) 依頼調査業務 : 文章ではなく、箇条書きで記載のこと。 (2) 依頼調査業務 : 文章ではなく、箇条書きで記載のこと。 (2) 依頼調査業務 : 文章ではなく、箇条書きで記載のこと。 ※ 次回 2017 年 9 月度部内会議(10/11) の資料担当は、藤田G長 ※ 次回 2017 年 9 月度部内会議(10/11) の資料担当は、藤田G長	各部記載内容を整理。要すれば改訂版提出依頼。								今西	
1) FSW 山本金属温度測定装置導入可否の表は全く分からず、比較ができない。 さくらい工業だけに頼らず、大学との共同研究等、スピードアップ可能なやり方を要検討。 川並鉄工でFSWを実施している。情報確認し、要すれば利用のこと。 2)Cold Spray 進捗遅延に見える。FSW 同様、研究開発のやり方を要検討。 3) LMD TRAFAM/MHI のLMD装置は、上市前に見学に行き、情報収集を実施のこと。 (4) 高熱伝導材の SACOC 適用研究 コスト計算が雑すぎ、ミスリードする。ろう付け費用等を盛り込み、精査のこと。 達成成果に目途を付け、理想目標に加え、撤退条件を時間軸で明確化のこと。 (5) 金属積層造形成果報告会で、溶接性可否の報告を行うこと。 2.2 材料・プロセスリサーチラボ (1) 研究業務 1) 熱交コラボ : 出張等記載不用。トピックスを報告のこと。 2.9 航機コラボ : 充填剤検討は、Go/Stop判断の基準を持つこと。 3) 分析技術開発 : CT実績数の報告不用。トピックスのみ報告のこと。 (2)依頼調査業務 : 文章ではなく、箇条書きで記載のこと。 久野ボゴ (2) 依頼調査業務 : 文章ではなく、箇条書きで記載のこと。 原野ボゴ (2) なりループ : 指摘無し 2.4 拡散接合研究グループ 法規対応の対役員報告は、どういう意味を持つのかも報告のこと。 藤田G長 ※ 次回 2017 年 9 月度部内会議(10/11) の資料担当は、藤田G長	(2) 技術情報共有 技術部長会報は、実施継続可否を検討。							•	上森部長 今西	
進捗遅延に見える。FSW 同様、研究開発のやり方を要検討。 3) LMD TRAFAM/MHI の LMD 装置は、上市前に見学に行き、情報収集を実施のこと。 (4) 高熱伝導材の SACOC 適用研究 コスト計算が雑すぎ、ミスリードする。ろう付け費用等を盛り込み、精査のこと。 達成成果に目途を付け、理想目標に加え、撤退条件を時間軸で明確化のこと。 (5) 金属積層造形 成果報告会で、溶接性可否の報告を行うこと。 2.2 材料・プロセスリサーチラボ (1) 研究業務 1) 熱交コラボ : 出張等記載不用。トピックスを報告のこと。 2.1 航機コラボ : 充填剤検討は、Go/Stop判断の基準を持つこと。 3) 分析技術開発 : CT 実績数の報告不用。トピックスのみ報告のこと。 (2) 依頼調査業務 : 文章ではなく、箇条書きで記載のこと。 2.3 知財グループ : 指摘無し 2.4 拡散接合研究グループ 法規対応の対役員報告は、どういう意味を持つのかも報告のこと。 ※ 次回 2017 年 9 月度部内会議(10/11) の資料担当は、藤田G長 以上.	1) لا څ	FSW 山本金属温度測定 さくらい工業だけ	装置導入可否の表に に頼らず、大学との	の共同研究等	、スピードア	ップ可能なや	やり方を要核		西	
TRAFAM/MHI の LMD 装置は、上市前に見学に行き、情報収集を実施のこと。 (4) 高熱伝導材の SACOC 適用研究 コスト計算が雑すぎ、ミスリードする。ろう付け費用等を盛り込み、精査のこと。 達成成果に目途を付け、理想目標に加え、撤退条件を時間軸で明確化のこと。 (5) 金属積層造形 成果報告会で、溶接性可否の報告を行うこと。 2.2 材料・プロセスリサーチラボ (1) 研究業務 1) 熱交コラボ : 出張等記載不用。トピックスを報告のこと。 2) 航機コラボ : 充填剤検討は、Go/Stop判断の基準を持つこと。 (2) 依頼調査業務 : 文章ではなく、箇条書きで記載のこと。 2.3 知財グループ : 指摘無し 2.4 拡散接合研究グループ 法規対応の対役員報告は、どういう意味を持つのかも報告のこと。 ※ 次回 2017 年 9 月度部内会議(10/11) の資料担当は、藤田G長 以上.	進捗遅延に見える。FSW 同様、研究開発のやり方を要検討。 3) LMD TRAFAM/MHI の LMD 装置は、上市前に見学に行き、情報収集を実施のこと。									
達成成果に目途を付け、理想目標に加え、撤退条件を時間軸で明確化のこと。 (5) 金属積層造形 成果報告会で、溶接性可否の報告を行うこと。 2.2 材料・プロセスリサーチラボ (1) 研究業務 1) 熱交コラボ : 出張等記載不用。トピックスを報告のこと。 2) 航機コラボ : 充填剤検討は、Go/Stop判断の基準を持つこと。 3) 分析技術開発 : CT 実績数の報告不用。トピックスのみ報告のこと。 (2) 依頼調査業務 : 文章ではなく、箇条書きで記載のこと。 2.3 知財グループ : 指摘無し 2.4 拡散接合研究グループ 法規対応の対役員報告は、どういう意味を持つのかも報告のこと。 ※ 次回 2017 年 9 月度部内会議(10/11)の資料担当は、藤田G長										
(1) 研究業務	道 (5)	達成成果に目途を付け、理想目標に加え、撤退条件を時間軸で明確化のこと。 (5) 金属積層造形							`西	
1) 熱交コラボ : 出張等記載不用。トピックスを報告のこと。 2) 航機コラボ : 充填剤検討は、Go/Stop判断の基準を持つこと。 3) 分析技術開発 : CT 実績数の報告不用。トピックスのみ報告のこと。 (2) 依頼調査業務 : 文章ではなく、箇条書きで記載のこと。 2.3 知財グループ : 指摘無し 2.4 拡散接合研究グループ 法規対応の対役員報告は、どういう意味を持つのかも報告のこと。 ※ 次回 2017 年 9 月度部内会議(10/11)の資料担当は、藤田G長 以上.			サーチラボ					久	、野莎、長	
3) 分析技術開発 : CT 実績数の報告不用。トピックスのみ報告のこと。 (2) 依頼調査業務 : 文章ではなく、箇条書きで記載のこと。 2.3 知財グループ : 指摘無し 2.4 拡散接合研究グループ 法規対応の対役員報告は、どういう意味を持つのかも報告のこと。 ※ 次回 2017 年 9 月度部内会議(10/11)の資料担当は、藤田G長 以上.	1) 熱交コラボ : 出張等記載不用。トピックスを報告のこと。 2) 航機コラボ : 充填剤検討は、Go/Stop 判断の基準を持つこと。 3) 分析技術開発 : CT 実績数の報告不用。トピックスのみ報告のこと。							久	、野莎 長	
2.3 知財グループ : 指摘無し 2.4 拡散接合研究グループ 法規対応の対役員報告は、どういう意味を持つのかも報告のこと。 藤田 G 長 ※ 次回 2017 年 9 月度部内会議(10/11)の資料担当は、藤田 G 長 以上.									久野沛 長	
法規対応の対役員報告は、どういう意味を持つのかも報告のこと。 藤田 G 長 ※ 次回 2017 年 9 月度部内会議(10/11)の資料担当は、藤田 G 長 以上.	2.3 知財グループ : 指摘無し							久	、野莎、長	
以上.				意味を持つの	かも報告のこ	と。		藤	海G長	
	※ 次回] 2017 年 9 月度部	7内会議(10/11)の資	料担当は、原	藤田G長		Ŋ	止.		
関連文書類 2017年9月度 研究部 部内会議資料	日日・土・二	事 2015年2		人				!		



配布先 高橋常務 各出席者

計